

「アマミノクロウサギ」 について



ミニ情報

やせいせいぶつ こうつうじこ
野生生物が交通事故にあう「ロードキル」発生

けんすうぞうか もんだい
件数増加が、問題となっています。

しらべものでつか^{つか}えるほん^{ほん}を、うら^{めん}面でしょうかい^{しょうかい} →→→

アマミノクロウサギは、徳之島と奄美大島だけに生息して
いて、小さい耳と短い手足を特徴とした、国の特別
天然記念物です。

ウサギの中でもっとも原始的な姿を残していることから
「生きた化石」ともよばれています。

●アマミノクロウサギについてしらべるための本

	書名	著者名	出版社
K48	写真でつづるアマミノクロウサギの暮らしぶり	勝廣光	南方新社
K40	アマミノクロウサギブック		奄美自然体験活動推進協議会
K40	奄美の稀少生物ガイド 2	勝廣光	南方新社
K48	週刊日本の天然記念物動物編 アマミノクロウサギ		小学館

●インターネットでしらべてみよう

・環境省

ホーム>政策分野・行政活動>政策分野一覧>自然環境・生物多様性>希少な野生動植物
種の保全>保護増殖事業>アマミノクロウサギ

(<https://www.env.go.jp/nature/kisho/hogozoushoku/amaminokurousagi.html>)

●もっと知るための施設は？

・奄美野生生物保護センター（大島郡大和村思勝字腰ノ畑 551）